



「よいよ未来の創造」

「笑顔」「感動」「絆」

発行 令和4年4月11日
「己に厳しく 人に優しく」
波佐見町立波佐見中学校
校長 酒井 一男

歓迎式・始業式

4月6日（水）の歓迎式で、新たに着任した14名の内、12名の職員を紹介しました。2年生の富高悠斗さんの歓迎のことばを受け、着任した職員一同、決意を新たにしました。

その後、始業式を行いました。私からは、校訓「己に厳しく 人に優しく」のもと学校教育目標を「学びを生かし、よりよい未来を創造する生徒の育成」と改めたこと、学校生活のキーワードを「笑顔」「感動」「絆」としたことを伝えました。また、コロナ禍の中で経験しているようにオンラインなど急激に技術が進歩しており、このように激しく変化する社会を生きるためには、「強い意志を持ち、周りとの協力しながら、柔軟に考え、前向きに、対応したり、よりよいものを創り出したりしていくことが大切になる。『笑顔』や『感動』があふれる学校において、『絆』を紡ぎながら、共に切磋琢磨し、学び合い、学んだことを生かし、よりよい未来を創り出し、活躍できる人になってほしい」と願いを伝えました。そして、3年生と2年生のそれぞれに対してメッセージを伝え、「日々の授業をはじめ、学校行事や部活動などの一つ一つの活動を大切にしてほしい。」「学校で学んだことを生かす力を確実に身に付けてほしい。」と話しました。生徒会代表の吉田然さんは「3年生の皆さんは、受験で悔いの残らないよう、実りある1年にしていきましょう。2年生の皆さんは、学習や部活動など、大きく成長する1年になります。3年生になって後悔しないよう、頑張ってください。私たち一人一人が何事にも一生懸命取り組み、関わってくださる方々に感謝の気持ちを表しましょう。皆で協力し合って様々な行事や学校、地域全体を盛り上げていしましょう」と、3年生代表の川島大和さんは「3年生は受験生、この1年間ねばり強く勉強に組みたい。そして、3年生の皆さんで団結して全員合格を目指しましょう。自分の目標をかせ、中体連で良い結果が出せるように頑張りましょう。下級生の手本となるように、礼儀やマナー、けじめを身に付けていきたい。様々な行事で中心となって下級生を引っ張っていきましょう。」と、2年生代表の石本向日梨さんは「積極的に発表したい。そして、自分の考えを深めて、1時間1時間の授業を大切に、意味のあるものにしていきたい。毎日、家庭で机に向かう習慣をつけ、復習を継続させていきたい。また、お互いが笑顔で幸せになれるようなメディアの利用を心がけていましょう。部活動においては、普段の練習に目標をもって取り組み、あいさつや整理整頓などをきちんと行い、1年生に良い刺激を与えられるようにしたい。」と、1年間の抱負を語ってくれました。充実した1年間になると確信しました。



入学式

4月7日（木）の入学式で、新入生132名を迎え、全校生徒393名がそろいました。式辞では「日々の授業を大切にしてほしい。自分の言葉、行動には、今まで以上に責任を持ってほしい。学校行事や生徒会活動、部活動に積極的に取り組み、仲間との絆を深めてほしい。」と話しました。また、町教育委員会からは「これから出会うさまざまな場面で、自立（自律）の土台となる『自己選択』・『自己決定』・『自己責任』を意識、実践してほしい。何が起きるかわからないからこそ、一日一日を、かけがえのない今を大事にしてほしい。」と告辞をいただき、PTA会長からは「校訓『己に厳しく 人に優しく』を心に刻み、今からの3年間に有意義に過ごしてください。紙を一枚一枚重ねるように毎日の積み重ねが大変重要、頑張るのではなく、頑張ることができるスキルを身に付けてください」と祝辞をいただきました。さらに、生徒会長の福田直輝さんからは、「挨拶」「物事に取り組む姿勢」「仲間との協力」について、楽しく学校生活を送るポイントとして話してもらい、「困ったことやわからないことがあったら私たちに聞いてください。この波佐見中学校で過ごす時間がとても充実したものになるように私たちと共にたくさんの思い出を作り、より良い波佐見中学校を築いていましょう。」と歓迎のことばをもらいました。新入生代表として、上村芽生さんは「中学校に入学して不安な気持ちになっている人に自分から声をかける。誰にでも平等に接することができる人になる。」とあいさつしました。132名の新入生の成長と活躍が楽しみです。



【式辞】

うらかな春の光に包まれ、あらゆる生命が躍動感にあふれる季節を迎えました。本日ここに、波佐見町教育委員会教育長 森田法幸様にご臨席を賜り、令和四年度入学式を挙げていきますことに、心から感謝申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。初々しいお子様の制服姿にお喜びもひとしおのことと存じます。職員一同、ご期待に沿えるよう、精一杯努めて参ります。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。また、中学校時代は、子育ての難しい時期でもあり、悩むこともあるかと思ひます。お子様のことで相談があれば、私たちは丁寧に応じますので、ご相談ください。

132名の新入生の皆さん、入学おめでとう、在校生、教職員一同、心から歓迎します。いよいよ中学校生活が始まりました。本校の制服に身を包み、緊張した様子の皆さんを見ていると、中学校生活への期待や意欲が伝わってきます。これからの皆さんの活躍が楽しみでなりません。

さて、本校では、本年度、校訓である「己に厳しく 人に優しく」のもと、学校教育目標を「学びを生かし、よりよい未来を創造する生徒の育成」と改めました。短く、覚えやすくし、変化の激しい社会を生きる皆さんに求められている力を目標として示しました。また、学校生活のキーワードを「笑顔」「感動」「絆」としました。この2年間のコロナ禍の中、みなさんも経験し、感じていると思いますが、感染症対策として、オンラインをはじめとする様々な面で急速に技術が進歩しています。このように、激しく変化する社会を皆さんは生きています。このような社会を生き抜いていくためには、何としてもやり遂げるという強い意志を持ち、周りと協力しながら、柔軟に考え、前向きに、対応したり、よりよいものを創り出したりしていくことが大切になります。このような社会を生きる皆さんに、「笑顔」や「感動」があふれる学校において、「絆」を紡ぎながら、共に切磋琢磨し、学び合い、学校や地域社会での学びを生かし、自分自身や、ふるさと波佐見町、長崎県、さらには日本、世界、そして宇宙の、よりよい未来を創り出していくための力を身に付け、社会で活躍してほしいと願っています。中学校三年間は人生の中でも最も急速に心も身体も成長する時期です。新入生の皆さんも一緒に学び合い、高め合い、可能性を広げながら、よりよい未来を創り出していく力を高めてくれるものと信じています。皆さんが自分の良さを輝かせ、仲間と協力しながら、実り多い中学校生活を送ることを期待し、三つのこととお話します。

一つ目は、日々の授業を大切にしてほしいということです。学校生活の大部分を占めるのが授業です。楽しい中学校生活を送るためには、授業が「分かる」ことが大切です。そして、授業を通して、充実感と達成感を味わい、「笑顔」で過ごすとともに、「感動」してほしいと願っています。また、人間としての在り方や生き方について学び、自分自身の理解を深めながら、この三年間で将来の目標を定めていくようになります。日々の授業を積極的に取り組むと同時に、自らを振り返りながら、目標を定め、その達成に向け、努力を重ねてください。

二つ目は、自分の言葉、行動には、今まで以上に責任をもってほしいということです。中学校は大人になるための学校とも言われます。時間や期限を守る、時と場に応じた言葉遣いをする、係活動等を確実にやるなど、責任を持って行動してください。

三つ目は、学校行事や生徒会活動、部活動に積極的に取り組み、仲間との「絆」を深めてほしいということです。中学校では、体育大会や文化発表会などたくさんの行事があります。また、生徒会活動や部活動もあります。仲間と協力したり、競い合ったり、共に切磋琢磨しながら「絆」を深めてほしいと思います。中学校時代の友達が一生の友となることも多いです。共に汗を流し、涙しながらも「笑顔」で、「感動」を味わい、「絆」を深めながら共に成長してほしいと切に願っています。

「限りある時間に限りない思い出を」

三年間という限りある時間に、将来の礎となる限りない思い出をつくってください。

新入生一三二名の活躍と成長を祈念し、式辞といたします。

【告示】

波佐見の大地に春の息吹が感じられる今日の良き日に、波佐見中学校に入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

真新しい制服に身を包む姿は、とても、初々しく、光輝いています。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。

今日から、波佐見中学校の生徒として、将来の「夢」実現のスタートとなる3年間の生活が始まります。

この3年間は、心や体の発達も著しく、最も多感な時期です。どうぞ、お子様の一番の良き理解者、応援者そして伴走者として、そばに寄り添い、励まし続けていただくようお願いいたします。

さて、新入生の皆さん、今日から波佐見中学校での生活が始まります。

心の中は、不安や喜び、そして中学校生活に対する意欲、希望にあふれていることでしょう。

そんな皆さんへメッセージを贈ります。

大人への階段を歩み始めた今日から大事にしてほしいことが二つあります。

一つ目は、これから出会うさまざまな場面で、自立（自律）の土台となる「自己選択」・「自己決定」・「自己責任」を意識、実践してほしいこと。

もう一つは、東日本大震災などの災害や新型コロナウィルス感染拡大の経験から、今まで「当たり前」に「普通にある」思っていたことは、決して「当たり前」・「普通ではない」ということです。何が起きるかわからないからこそ、一日一日を、かけがえのない今を大事にしてほしいということです。

最後になりましたが、酒井 一男校長先生をはじめ諸先生方におかれましては、生徒たちが心も体も大きく変化、成長するこの時期に、さまざまな場面でご苦勞をおかけするかと思います。

新入生一人一人が、自分らしく、充実した学校生活を送ることができるよう、温かさや厳しさをもってのご指導をお願いいたします。

終わりに、新入生にとりまして、波佐見中学校の3年間は実り多いものに、そして自分を高める有意義な学校生活となりますことを心から願ひ、告辞といたします。

【祝辞】

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、保護者の皆様におかれましては、本日はおめでとうございます。

コロナ感染拡大防止の観点から、このような形式になり、大変残念に思います。本来であれば、新入生の皆さんを2年生、3年生も一緒にお祝いしたいところでした。中学校の先輩達は、このコロナ禍の中、学校行事などを創意工夫し、学校生活を充実させてきました。新入生の皆さんの、良き目標となることと思ひます。

校門横の碑にある校訓「己に厳しく 人に優しく」、これを心に刻み、今からの三年間を有意義に過ごして下さい。

中学校3年間は、最後の義務教育となります。あっという間に時間は過ぎていきます。紙を一枚一枚重ねるように毎日の積み重ねが大変重要になります。頑張るのではなく、頑張ることができるスキルを身に付けてください。

最後になりますが、保護者の皆様、校長先生をはじめ教職員の皆様には、今後とも新入生と在校生を温かく見守り、時には厳しくご指導いただきますようお願い申し上げます。

御臨席の皆様の御健勝と御多幸をお祈りいたしまして、簡単ではございますが、祝辞といたします。

本日は、御入学おめでとうございます。